広野暮らし相談窓口 “りんくひろの” レポート

「12市町村移住サポーターセミナー」に参加してきました

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。９月４日（水）に大熊インキュベーションセンターで開催された12市町村移住サポーターセミナーに移住相談員として参加してきました。「12市町村移住サポーター」とは原発の影響を受けた自治体12市町村内で関係人口構築の活動を行っている方々で、オリジナルで体験ツアーを企画し受け入れを行っています。広野町でも「12市町村移住サポーター」に登録されている方がおり関係人口構築に取り組まれています。今回のセミナーは「移住・関係人口につながる場作りと情報発信のヒント」というテーマで、全国各地で関係人口構築している方々やその取り組みの事例をお伺いすることができました。移住相談員として「12市町村移住サポーター」と連携し広野町を訪問する方々とのつながりを構築していき、移住への後押しをおこなっていきたいと思います。

移住サポーターセミナー

９月12日（木）に福島広域雇用促進支援協議会（働きたいネット）が主催する「ふくしまで働こう企業説明会」が郡山市のビッグパレットふくしまで開催されました。企業説明会に合わせて移住説明会が同時開催されましたので広野町ブースを出展してきました。企業説明会には広野町からは企業２社が参加されており、参加企業と連携して就労情報や広野町の生活環境のご紹介をさせていただきました。広野町役場内には福島広域雇用促進支援協議会「働きたいネット 広野窓口」があり、就職相談、就職面接会、職場体験実習など幅広いサポートを行っています。広野暮らし相談窓口「りんくひろの」では「働きたいネット 広野窓口」と連携して情報提供を行っています。今後、広野町に移住を検討し就労先を探している方がいらっしゃいましたら、広野暮らし相談窓口「りんくひろの」までご相談ください。

企業説明会会場

広野町ブース

問 広野暮らし相談窓口りんくひろの　☎0240-27-1251

広野町振興公社紹介コーナー 第63弾

スイーツ甲子園チャレンジカップ出場者の皆さんが来訪

８月20日（火）、高校生パティシエによるオリジナルスイーツの製作を競う「スイーツ甲子園チャレンジカップ」がＪヴィレッジで開催されました。

昨年は大熊町のキウイ・富岡町のパッションフルーツ・楢葉町のサツマイモがテーマ食材で、出場者はそれらのうち一つの食材を選択しスイーツを作るというものでした。

今年はこれらに加えて、広野町のバナナ「綺麗」が加わりました。８月20日（火）に決勝戦が開催され、テーマ食材毎に３組が出場して腕を競い合いました。ほとんどが２人１組で作業を分担していましたが、なかには１人で出場したチームも複数いました。制限時間は同じなので、１人で出場したチームは他のチームの２倍の速さで作業しなければなりません。「綺麗」をテーマ食材に選んでくれた３組の決勝進出者のなかにも、長崎県の向陽高校の松田さんが１人で出場しました。松田さんの作業が終わらず、制限時間が残り10秒となりカウントダウンが始まりましたが、残り３～４秒というところで見事完成させていました。

３組のスイーツを試食させていただきました。１組目の向陽高校の松田さんのスイーツは、ほろ苦いチョコと「綺麗」を合わせた大人向けのケーキでとても美味しいスイーツでした。２組目は北海道の静内農業高校から松原さんと岡本さんのチームでした。彼女たちはバナナがたくさんプリントされたエプロンを着て出場してくれました。彼女たちが作ったのは、農業高校らしく乳牛の模様をイメージした可愛いスイーツでした。そして３組目は熊本県の慶誠高校から井元さんと毛利さんのチームでした。彼女たちのスイーツは味も見た目も素晴らしく、見事、最優秀賞を獲得しました。

出場された高校生の皆さん、広野町のバナナ「綺麗」で素敵なスイーツを作っていただきありがとうございました！

バナナの部で最優秀賞を獲得した慶誠高校のお二人と担当審査員の小林美貴シェフ

出場者とスタッフで記念撮影

公式サイト　公式インスタ